

令和3年度 第2回柿崎区地域協議会 次第

日時：令和3年5月11日（火）午後6時～

場所：柿崎コミュニティプラザ 305～307 会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

4 報告事項

(1) 柿崎区地域協議会各種委員会からの活動報告

(2) 令和2年度地域活動支援事業の実績報告・・・・・・・・・・・・・・・・資料1

5 協議事項

(1) 令和3年度地域活動支援事業について・・・・・・・・事前送付資料

- ① 基本審査及び採択方針による審査
- ② プレゼンテーション実施団体の確認
- ③ 委員の除斥について

6 その他

(1) 第3回柿崎区地域協議会の開催について

日 時：令和3年5月25日（火） 午後6時～

会 場：柿崎コミュニティプラザ 305～307 会議室

内 容：地域活動支援事業の事業提案団体によるプレゼンテーション

(2) その他

7 閉 会

地域の交通を考える会 会議記録

日 時	令和3年5月7日（金） 18:30～19:45	出席者	武田委員長、吉井会長、岩野委員、 貝谷委員、小山委員、吉村委員 湯本清隆氏、中村和彦氏、田川喜友氏 まちづくり振興会 中村事務局長
場 所	柿崎コミュニティプラザ 市民活動室		
記録者	岩野委員	欠席者	片桐（宏）委員

標 題 第8回 地域の交通を考える会

議題 「代替運行の方向性と形態について」

■協議結果

- ①今後、柿崎まちづくり振興会が主体となって、交通施策課及び自治・地域振興課と区内の公共交通のあり方を協議していく。
- ②5月11日開催の第2回地域協議会終了後に、地域の交通を考える会で勉強会を開催する。
- ③5月17日の週に、交通政策課及び自治・地域振興課を招き、第9回地域の交通を考える会開催の方向で調整する。

○主な意見

吉井会長

- ・地域協議会では、路線バスの代替えを確保するため、これまで先進地を視察し情報収集に努めてきた。
- ・デマンド化にするとか、タクシー会社に委託するとかの運行形態や運行方法を決める前に、業務の受け皿を決めることが必要だ。
- ・柿崎まちづくり振興会にお願いするのか、別団体に依頼するのか、新たに組織を立ち上げるのか。
- ・次回の委員会では組織を含め、柿崎区としてこういうやり方で実施したらどうかと提案する。

武田委員長

- ・地域の交通を考える会は、道筋を作るまでが仕事。運営については、まちづくり振興会が中心となって行ってほしい。

中村事務局長

- ・まちづくり振興会が中心となり運営するにしても、資料がなく今の段階では検討してみようがない。
- ・今までの調査報告や資料を示してほしい。

田川氏

- ・代替運行や市の補助金の説明。

吉井会長

- ・入広瀬や妙高市、三和区はバス路線が廃止され、まちづくり振興会が受け皿となっている。
- ・今までの調査資料、運行形態、経費の算出根拠等をまちづくり振興会へ提出する。
- ・6月に、市へ提案書を提出し委員会を解散する。

中村事務局長

- ・提出された資料を基に、検討に入るとともに理事会に諮る。
- ・検討した結果、受け皿となりえないことも考えられるが、そこは承知願いたい。

以 上

令和2年度 柿崎区地域活動支援事業実績

資料 1

(単位:千円)

順位	事業の名称		団体の名称	事業内容の概要	提案額		採択額		実績額		備考欄
					事業費	補助希望額	事業費	補助金	事業費	補助金	
1	新規	柿崎中学校創立50周年記念式典・記念講演会事業	柿崎中学校創立50周年記念事業実行委員会	柿崎中学校創立50周年の歩みを振り返り、今後のさらなる発展を願うため、記念式典と記念講演を実施した。記念式典では、50周年の軌跡をたどるビデオ上映を行い、記念講演では上越教育大学教授による歌唱や、ナマラエンターテイメントによる笑いを交えた講演を行った。また、郷土愛を育む契機とするため、記念誌を作成し柿崎区の全世帯や関係者に配布した。	1,186	1,000	1,186	1,000	1,000	1,000	補助率1.0
2	新規	柿崎ソフトテニス活性化事業	柿崎ソフトテニスクラブ	テニスのまち柿崎として、特に中学生以下のジュニアの育成と大会等への出場機会の提供、底辺拡大を図るため、ジュニアナイター教室やインドア教室を開催した。また、9月と1月にテニス大会を開催し、練習の成果と勝つ喜びを味わう機会を提供した。	551	550	551	550	552	550	補助率1.0
3	新規	坂田池園地桜植替え事業	柿崎観光協会	坂田池周辺園地の桜について、てんぐ巣病や老齢化で傷みが増した桜の植え替えを行うことにより、観光資源としての坂田池の景観を維持し、交流人口の拡大に寄与した。今回はてんぐ巣病に強い品種である「陽光」をメインとして植え替えを行った。	902	891	902	891	900	891	補助率1.0
4	新規	Happiness (ハピネス) イルミネーション～柿崎の皆さんに幸福と幸せと喜びを～	柿崎商工会青年部	全国で行われた医療従事者への激励ブルーライトアップを参考に、柿崎区のシンボルの一つである坂田池をカラーライトアップすることで、医療従事者だけでなく、多くの方々に激励のメッセージを伝えた。新型コロナウイルスの影響により、地域の各種行事が中止になっている中で、地域の活力向上に寄与できた。	1,004	1,000	1,004	1,000	1,055	1,000	補助率1.0
5	新規	第3回手しごと・手づくり柿崎・上越作品展	手しごと・手づくり柿崎・上越作品展実行委員会	市民同士の交流を深めるとともに、ものづくりへの制作意欲の向上を図るため、柿崎区の寺院を会場に、10月16日から18日の3日間、ものづくりを趣味として制作している作品の作品展を開催した。	178	100	178	100	178	100	補助率1.0
6	2回目	柿崎区青少年育成会議「柿崎総ぐるみあいさつ1,000人大運動」事業	柿崎区青少年育成会議	柿崎区全体で青少年の健全な育成活動を行うため、9月8日から11日まであいさつ運動を実施した。期間中は、町内会や保育園、小中学校、高校、一部事業所等に運動の目印となるのぼり旗を設置し、青い手袋を身につけて、柿崎総ぐるみであいさつを交し合った。	301	270	301	270	300	270	補助率0.9
7	11回目	ドーム周辺花いっぱい事業	花うえの会	柿崎を訪れる人に安らぎを提供するため、国道8号からかきざきドーム入口までの350メートルの花壇に花を植え、施設周辺の環境整備を行った。今回は、1年を通して花を楽しんでもらうため、あじさいやシラン、ガザニア、水仙などの多年草の植栽を行った。土づくりや草取り、ごみ拾いなどの作業も随時実施した。	280	224	280	224	282	224	補助率0.8
8	11回目	柿崎まちづくりカレンダー作製事業	柿崎まちづくり振興会	柿崎区内の各行事への参加意欲を高めるとともに、地域の一体化の醸成や家庭でのコミュニケーションづくりに寄与するため、行政や関係機関、町内会等の主な行事を掲載したカレンダーを3,650部作製し、柿崎区の全世帯、保育園、学校、事業所等に配付した。	838	500	838	500	839	500	補助率0.8
9	9回目	かきざき湖八重桜の周遊路整備継続事業	ガンバ米山	かきざき湖八重桜広場を新たな桜の観光名所とするため、ぬかるみや水たまりに対応した水路の新設や一方通行の標識を設置し、安全に八重桜を鑑賞できるようにした。また、八重桜の定期的な手入れや電気柵の設置等、周辺の環境整備も行った。	990	792	990	792	990	792	補助率0.8
10	7回目	密蔵院周辺の整備および米山登山道古道整備事業	米山と密蔵院を結ぶふれあいパークの会	環境美化や地域の活性化を図るため、上越地区随一の彫刻を有する密蔵院護摩堂周辺の整備や、米山山頂へと続く米山登山道古道の定期的な清掃、草刈り、倒木処理、沿道のアジサイ・つつじ等の管理を行った。また、1月を除く毎月1回、古道を歩く会を開催し、古道に咲く花々を鑑賞しながら参加者同士の交流を図った。	227	181	227	181	230	181	補助率0.8
11	9回目	黒川・黒岩ふれあい事業	16ピース	黒川・黒岩地区に交流の場と活力を生み出すため、旧黒川小学校グラウンド沿いにあるフラワーロードの整備(環境美化活動)及びメッセージ看板の設置を行った。今回は、新型コロナウイルス感染症対策のため、当初予定していた「米山古道散策と遺跡めぐり」、「ふれあいそば祭り」の2つのイベントを中止した。	541	432	541	432	345	270	補助率0.8
12	2回目	柿崎区農業の未来を考えるための地域ビジョン策定事業	柿崎農業の未来を考える会	農業者世帯と非農業者世帯の方々の農業に対するイメージを調査、分析し、地域農業ビジョンを策定するため、「柿崎の農業に関するアンケート調査」を実施した。今回は、9集落の232世帯、587人にアンケートを依頼し、148世帯358人から回答を得た。回答結果を集計し、データとしてとりまとめた。	813	731	813	731	830	731	補助率0.9
13	2回目	和楽器による高齢者の生きがい支援事業	和楽器に親しむ会	高齢者の生きがいづくりを支援するため、体験する機会が少ない和楽器(箏)演奏の初歩を体験する機会を提供した。体験会は、毎月1回、高齢者のいきいきサロン開催時に実施した。また、活動の成果を生涯学習フェスティバル等で発表した。	520	468	520	468	539	468	補助率0.9
14	新規	ジュニアバレーボール活性化事業	柿吉JVC	ジュニアバレーボールを通じて、自ら考え行動する力の習得や他者と協働する資質の育成を図るため、上下浜小学校を拠点にジュニアバレーボール活性化事業、大会参加事業を実施した。ジュニアバレーボール活性化事業では、メンバーの募集活動を行った。また、大会参加事業では、子どもたちのユニフォームを整備し、大会で練習の成果を発揮した。	394	393	394	61	62	61	補助率1.0
柿崎区への配分額					7,200	7,532	8,725	7,200	8,102	7,038	(実績報告後の残額 162千円)